

令和7年度

集落支援員活動報告



佐久市 集落支援員 浦野真理



“臼田地域のプルーンの耕作放棄地の予防とブランディング”

- 担当地区: 切原地区
- 受入団体: 一般社団法人チームホシノマチ
- 2025年04月より活動開始





自己紹介

浦野 真理 (うらの まこと)

- ・2023年4月佐久市に移住
- ・2児の父(9歳、5歳)
- ・研究者
- ・機器メーカー、AI開発企業に勤務後、2020年に独立し会社設立
 - ✓ 企業向けの研修、技術コンサルティング
 - ・技術解説、技術予測
 - ・新規事業支援
 - ・人材育成やワークショップの講師
 - ✓ 中学生、高校生向けの講義、オンライン授業
 - ・人工知能、最先端テクノロジーの解説
 - ・気候変動 ・脳科学とスマホ依存 ・世界の紛争、平和構築と日本 etc…





臼田地域の果樹農家：現状と課題

現状

- 臼田地域(切原地区)のプルーン農家は、りんごを主として生産している
- 毎年の相模原市、岡崎市での出張販売では長蛇の列ができ、数時間で完売する。熱烈なファンを持っている
- 50年以上続く「りんご樹オーナー制度」は人気を誇っているが、年々受け入れ農家、提供する樹の本数が減っている

課題

- 高齢化
- 後継者の不在
- 農繁期の人手不足：シルバー人材頼み





プルーン農家さんたちの声

- 「りんごには人件費を出せるが、プルーンには出せない」
- 「去年のお客さんへ送る量を収穫するのに精一杯」
- 「(後を継ぐことは)家族も含め、人生全体を覚悟する必要がある」





活動一年目の2つの柱

1

収益性の向上

- ✓ 高付加価値化
例: 富裕層向け商品の検討
(大手百貨店との企画・販売)
- ✓ 既存の販売価格の再検討
例: りんご樹オーナーの価格改訂

2

継承の接点づくり

- ✓ 就農検討者と農家との交流
例: プルーン畑への訪問、
収穫体験の機会づくり
- ✓ 就農経験者を招いたイベント開催



プルーン・りんご 販売会視察(神奈川県相模原市)



到着時には300人ほどの行列ができていました。



佐久のプルーン、りんごのファンに農家さんが直接、手売りをします。自然と会話が生まれます。



りんご樹オーナー制度

- 一本単位で樹木のオーナーとなる制度。
- 1本2.2万円。
- 11月初旬に畑へ来て「自分の樹」の果物を収穫(採り放題)。
- 去年は約100本のオーナーを募集し、倍率2倍以上の応募があった。

農家の声

「喜びはあるが、負担が大きい」

「長年同じ価格でやってきたので、値上げしにくい」

「オーナー来訪の時期は、収穫作業ができない」

「畑に来なかったオーナーへの発送費用を負担している」



1本2.8万円に価格変更

負担となっていた送料のルールを改訂



※ 岡崎市のinstagram



他地域の価格・サービス内容の調査

(1) 長野県内 / 全国各地のりんごの木オーナー制度の調査結果(2026年1月版)

地域	制度名	価格・コース	収穫量などの目安	備考
長野県 佐久市	臼田地域りんご樹オーナー制度	1本 22,000円	目安150玉程度	神奈川県相模原市 抽選・46本。 愛知県岡崎市 募集。抽選・46本。
長野県 小布施町	りんごのとなり	10kg 6,500円 20kg 13,000円 30kg 19,500円	・来園食べ放題 ・来園しない場合は半分	秋映・ふじ。それぞれ限定15口。 (長野県小布施町「りんご農家」りんごのとなり)
長野県 飯綱町	飯綱町ふるさと振興社 りんごの木オーナー制度	A(40kg) 28,000円 B(20kg) 15,000円	A:ふじ 40kg(約150個) B:ふじ/シナノS/ゴールド 20kg(約75個)	町の公社運営、特典(施設クーポン等)あり。 (飯綱町ふるさと振興公社 信州 長野県飯綱町の農業振興・農産物直売所・そば処)
長野県 辰野町	りんごオーナー (町主催・農園名簿方式)	ふじ 15,000~28,000円 シナノS 20,000円 ゴールド 9,000円 秋映 9,000円	各園ごとに収穫量の目安が異なる。	詳細は各園に直接尋ねるよう案内あり。 (town.tatsuno.lg.jp) 各園の一覧表(PDF) https://www.town.tatsuno.lg.jp/material/files/group/6/reiw-ananannennoenmeibo.pdf
長野県 飯田市	高木農園 りんごの木 オーナー	1口 22,000円	最低30kg保証	サンふじ。6名まで無料入園。 (e-kudamono.com)
長野県 飯田市(天龍峡)	柴本農園 りんごの木 オーナー	1口 25,300円	段ボール3箱 概ね33kg~36kg程度 =110個~130個程度	広大なりんご園の一角に「オーナー様専用エリア」をつくり 複数のオーナーで区域内の樹を所有。「1本オーナー」と違い、出来不出来や収穫量の違いがない。(e-ringoo.com)
長野県 安曇野市	あづみ野フルーツランド	1本 27,000円	1本50kg保証	自園の価格詳細は年により変動。 制度・保証説明が明確。(あづみ野フルーツランド)

果(2026年1月版)

価格・コース	収穫量などの目安	備考	
4,000円 オプション (1,000円)	もぎ取り体験・不来園時は宅配可	コスモふじ。 ((株)ApplePAPA公式ホームページ) ・絵入りは、企業が利用した例あり(40周年の記念品)	
3,800円 ~20玉)	体験作業は1作業1,000円/人 (「花摘み」「摘果」「収穫」の作業毎)	木ではなく「枝」のオーナー制度。 (anekko.com)	
岩手県 盛岡市	乙部角屋 「りんごの木」リポート オーナー	1本 27,000円	・ふじ ・1本約30kg~40kg ・新規の方は、ネームプレート代として3,000円 ・生育の様子を農家さんからオーナーへ不定期報告する
福島県 国見町	クニミノマド りんごの木オーナー制度 (シェア)	27,500円	・サンふじ ・約10kg (約30個) ・農園イベント参加、月1~2回レポート 1本を複数人でシェアする設計。(FOUNDING SELECTION)

全国各地のりんごの木オーナーの制度のサービス内容や価格を調査したレポートを作成。価格改訂の際に参考にさせていただきました。



継承の接点づくり

地域住民と
農家さんとの交流

新規就農した
果樹農家さんの
トークイベントの開催



イベント企画・開催 ①

農家さんからプルーンを提供いただき、プルーンの食べ比べ会を開催

移住者が集う住民のイベントを開催。品種を隠した試食&人気投票では、ローブドが一番人気でした。佐久市のプルーンや農家さんの紹介、そしてその時期に収穫された3種類のプルーンの試食会を行いました。



イベント開催ブログ記事



それぞれの特徴をまとめ、配布しました



イベント企画・開催 ②

～果樹農家さんお話し会～ 「子育て移住から新規就農へ」 移住と就農のリアルを聞いてみよう

○トークゲスト：ナナマル果樹園 園主 佐藤由也さん氏

○開催日：2026年02月21日

○会場：コスモホール

佐久市に移住後、会社員から果樹農家へと転身した佐藤由也さんと切原地区の果樹農家さんをゲストにお迎えして開催。就農までの道のり、現場から見える果樹農家の現状と課題。気候変動と果樹栽培との関係などについて参加者の皆さんと共に考えました。



果樹農家さんお話し会
子育て移住から新規就農へ
移住と就農のリアルを聞いてみよう

2.21 Sat 会場：コスモホール2階 会議室1
14:00-15:30 佐久市下小田切 124-1
参加料：無料

白田地域のブルーベリー農家さんもお招きします！

子育て環境を求めて佐久市へ移住。その後、農業体験をきっかけに、会社員から果樹農家へ転身した。佐藤由也さんをゲストにお迎えします。新規就農までのリアルな道のり、果樹農家の今の暮らし、そして現場から見える果樹農家の現状や課題まで、ざっくばらんに語っていただきます。当日は、白田エリアの果樹農家さんも会場にお招きする予定です。

移住・新規就農・農業の事業継承——地域の「いま」と「これから」を、皆さんと一緒に考える。冒険でもありませんか？
とあなたもお気軽にご参加ください！

ゲスト 佐藤由也さん
ナナマル果樹園 園主
首都圏から、佐久市の移住者向け賃貸「ホシノマナ園地」に子育て移住。移住初期との農業体験をきっかけに果樹農家の立身へ一歩を踏み出す。非子入り農業実習校での学びを経て、2025年にりんご農家として新規就農。「ナナマル果樹園」の園主として、果樹づくりに取り組んでいます。

主催・進行
佐久市集落支援員（浦野）

お申込み
お申込み、お問合せは、右のQRコードよりお願いします。※QRからの申込みが難しい場合は、申込み不要で直接来場いただいたもかまいません。



次年度の活動計画

- **大手百貨店ふるさと納税への出品**

- 農家さんたちとの話し合いを行い、富裕層向けの商品を考案する
- オリジナル商品としての工夫（糖度などの品質、パッケージやロゴなど）

- **東京都内へのマルシェ出店**

- 青山ファーマーズマーケット等

- **イベント開催**

- 佐久市の関心層向け（気候変動、持続可能性などのテーマに関連づける）
- 移住検討者、就農希望者向け（遠隔地在住の方向けにオンライン配信も検討）

- **移住就農者へのヒアリング活動**

- 就農移住者へのヒアリングをして、就農を決めた理由や、その際のハードルを聞き集める。
- 実際にどのようなルートで現在の農家としての生業に至ったのかを調査する。

| end